



FUKUSHIMA 市民インタビュー

このコーナーでは、福島市のさまざまな分野で活躍する人や団体を紹介します。今回は、桜の名所である大森城山の清掃や草刈り、植樹などの整備活動を行っている「大森城山を愛する会」会長の河野勝紀さんにインタビューしました。

▼ **会の活動内容は？**
毎月第2日曜日の朝6時から大森城山の草刈りやごみ拾いをしています。誰もが大森城山を「憩いの山」と感じてくれるよう、環境の整備は常に意識していますね。毎日のように見回りをしている会員も多く、自主的に清掃をしたり、草刈りの際も自前の草刈り機を持ってきます。みんな、

▼ **入会のきっかけは？**
約24年前に仕事の都合で大森へ引っ越した際、大森城山の豊かな自然、歴史を知って「これは素晴らしい山だ」と感動しました。それから、当時の副会長に声を掛けてもらったのがきっかけで「大森城山を愛する会」に入りました。



大森城山を愛する会
会長 河野勝紀さん



▲春の大森城山公園

▼ **大森城山の魅力とは？**
桜の季節に東北新幹線に乗ると、窓から大森城山が見えます。山全体が桜色になって、遠くから

信夫地区のシンボルである大森城山への愛情が深いんですよ。
また、会が行う大きなイベントとして、毎年6月に子供会と老人会など地域のみんなが集まって「大森城山を愛する集い」を開催しています。集いではみんなで清掃と桜の苗木の植樹を行い、子どもたちには「君たちが大きくなった頃にきれいな桜が咲くよ」と教えます。思い出になるし、一緒に植えた桜の木があることで大人になってもふるさとを大事に思うきっかけになるといいですね。

▼ **今後の展望は？**
市内でも有数の桜の名所である大森城山の素晴らしさを、一人でも多くの方に伝えるため、これから積極的に活動を行っていきます。また、会員も募集中です。大森城山を愛する方、ぜひ私たちと一緒に活動しましょう！

見ても本当にきれいなんです。昔、新幹線で隣に座った方が「あの山の迫力はすごいですね」と話しかけてくれたことがあり、私はうれしくなって「ぜひ一度寄ってみてください」とお話をしたこともありました。もちろん、ここに住んでいる私たちも「ふるさとに大森城山がある」ということを誇りに思っています。見る人の心を動かすような美しさが大森城山の魅力の一つです。
実は毎年、大森城山公園さくらまつり（P2参照）期間中にライトアップもしていて、夜桜もまた一層きれいなんですよ。ぜひたくさんの方に見ていただきたいですね。



We Love ♥ ふくしま！

第2回『子どもたちの夢と活躍を』

もうすぐ、大震災後7回目の3.11を迎えます。依然風評被害が続くなど、復興は道半ばの状況ですが、今、子どもたちの活躍が私たちを元気付けています。

福大附属小5年女子2人による商店街活性化の提案、松陵中の「松川カルタ」制作、渡利中科学部の研究、野田小・吉井田小のマーチングバンドなどが、それぞれ全国規模の大会で最高クラスの栄誉に輝きました。

素晴らしい活躍。子どもたちや指導された先生方、保護者の皆さんに拍手を送ります。

特に、地域を良くしたいとの強い思い、そして地域とのつながりの中から成果を上げているのがうれしいですね。



▲野田小・吉井田小マーチングバンド
全国大会の受賞報告

他の子どもたちの目標として、活動をさらに先へと伸ばさせていきたいものです。

一方、落ち着いた教育を受ける環境にない子どもたちもいます。十分な教育を受けられないと、次の世代の貧困を生む負の連鎖をもたらします。

子どもたちのさまざまな居場所を通じて、恵まれない環境の子どもたちをサポートしていくことも大切でしょう。

このような折、子どもたちのためにと、民間法人による寄付や給付型奨学金の創設をいただきました。本当にありがたいことです。

最近のデータによると、福島県は平成29年中の人口転出超過数が約8,400人で全国一、福島市も1,000人近い転出超過となっています。

福島市の未来のためには、子育て世代と将来を担う子どもたちが夢と郷土愛をもって成長し、福島市に定着、活躍できるようにしていかなければなりません。

官民で力を合わせて、未来へと可能性を伸ばす教育の支援と、子どもたちの底上げを図る教育の支援を並行して進め、子どもたちが個性に応じて夢に挑戦できる福島市にしていきたいと思えます。

福島市長 木幡 浩